

大阪弁護士会シンポジウム

# カードでどうなる？ プライバシーと社会保障

## ～ 社会保障カードを考える ～

平成21年は、わが国における電子政府の実現にとって記念すべき年となるかもしれません。

昨年は、最高裁判所の住基ネット合憲判決を皮切りに、本シンポジウムの主題である社会保障カード（仮称）電子私書箱（仮称）次世代電子行政サービスに関する報告書が矢継ぎ早に政府に提出されるなど、電子政府を実現するための法的・政治的準備が着々と進められました。

今年は、電子政府の実現化が大きく前進する年となることが予想されます。

健康保険証、年金手帳、介護保険被保険者証を一体化したICカードである社会保障カード（仮称）は、わたしたちの生活に大きな影響を与えることが予想されます。それにもかかわらず、その内容は国民に周知されていません。社会保障カード（仮称）がわたしたちの生活に本当に役に立つのか、についてもほとんど議論されていない状況です。

そのうえ、社会保障カード（仮称）等の導入の前提として、政府や民間の保有する全個人情報を一元的に統合する共通コードを導入することが本格的に検討されています。このような共通コードが導入された場合、いわゆる国民総背番号制につながり国民のプライバシーを侵害するおそれ（「国家による国民監視」等）もあります。

このような観点から、日本弁護士連合会はこれまでも、社会保障カード（仮称）に反対の意見を表明してきましたが、大阪弁護士会においては、社会保障カード（仮称）のみならず、電子私書箱（仮称）など政府が構想する次世代電子行政サービスを視野に入れながら、社会保障カード（仮称）の問題点について議論したいと思います。

と き：2009年2月14日（土） 午後1時30分～午後4時30分

プログラム：第1部～基調講演

第2部～パネルディスカッション

会 場：大阪弁護士会館2階ホール（〒530-0047 大阪市北区西天満1-12-5）

主 催：大阪弁護士会

後 援：日本弁護士連合会

参 加 費：無 料

参 加 申 込 書（切り取り不要）【申込〆切：2月13日（金）】

大阪弁護士会 委員会担当室 （FAX：06-6364-0252）

お名前

／ご所属・連絡

問合先：大阪弁護士会委員会担当室（池見） 電話：06-6364-1227

参加申し込みがなくてもご参加いただけますが、資料の準備等のためご協力下さい。また、ご提供いただいた個人情報は、大阪弁護士会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、本シンポジウムに関するご連絡以外には使用いたしません。

---

## 報告者・パネリスト 紹介

黒田 充さん（自治体情報政策研究所代表）

中村 厚さん（大阪府保険医協会副理事長）

棟居快行さん（大阪大学大学院高等司法研究課教授）

水永誠二（弁護士、日本弁護士連合会情報問題対策委員会委員）

坂本 団（弁護士、大阪弁護士会情報問題対策委員会委員長）

---

### 【大阪弁護士会館へのアクセス】



地下鉄・京阪「淀屋橋駅」1番出口より徒歩10分

地下鉄・京阪「北浜駅」より徒歩7分

地下鉄「南森町駅」2番出口より徒歩10分

JR東西線「北新地駅」より徒歩15分